

私の読書体験から

文学部教授 樋口 進

皆さんはこれまでにこんな経験、あるいはそれに近い経験をおもちではないでしょうか。

なにかの機会に、ある人が人生に関して教訓めいた話をされたとする。ところが皆さんは、たまたまそのある人の日常生活の実態を知る機会があって、そのある人の話されたこととの間にあまりにも大きな開きがあることに気づき、強い失望感をもたれたといった経験である。

言葉が発せられるときは、同じ言葉であっても、実際は各人それぞれ違った自己の意識から組立てられて表出され、しかもその内容は同じ言葉であっても各人によってそれぞれ違った対象領域をもっているのであるから、そのある人の発する言葉のはしばしから、一点でもその異質性による破綻を直覚することができれば、前述のような苦い経験をもたないで済んだのであるが、実際にはなかなか難しい。

また、こんな経験をおもちではないでしょうか。

共通語として言葉が通用している以上、ある人が彼の日常生活における行為とは無関係に言葉をひとり歩きさせて使っている場合、あるいはある人のそのときの瞬時の戯れ（譬えば虚偽の構成）で、仮の組立てによって言葉が発せられている場合など、たとえそれを見抜いていたとしても、その場合は我慢して拝聴し、ただ困惑するのみといった経験である。

この言葉とそれを発する人との間の乖離^{かいり}については、身近かな人の場合は別として、一般にはなかなか見わけのつきにくいものである。

ところで、この言葉と人との問題は、実は読書における選択の問題でもあると私は考える。少くとも狭い意味で、人生とのかかわりあいをもって

暗示する作業を行っている文学作品に接する場合において、私は常になんとか見わけをつけたいものだと思っているが、これがまたなかなか難しい。

「ある人」を「作家」に、「言う」を「書く」に置き換えて、作家と私との対峙^{たいじ}の関係でとらえるとき、私は果してどれだけその作家の言葉を通して、その作家から表出された意識と、その言葉のもつ対象領域を把握し、さらに言葉が発せられる契機となった「現実」を理解しているであろうかという不安がいつも身にまわりつく。

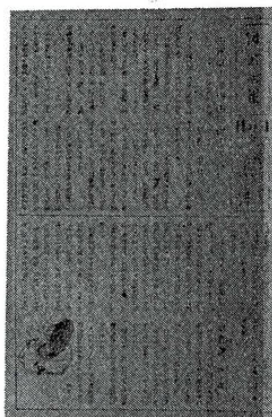
私は現代の中国文学を少し読んでいるものであるが、この不安から、私はいつの間にか知らず知らずのうちに作家の選択に慎重になり、作家の書いていることとその作家の生きて来た、あるいは生きようとして来た様相とがあまりかけ離れていない人物を択ぶようになった。作家についてのある程度の資料がない場合は、はじから敬遠する。

だが、このような作家の場合にも問題がないわけではない。それは作家が彼の言葉と彼の人生との密着度を極度に重視するがために、彼の作品（虚構・創造的想像の形成活動）と彼の人生（事実・素材体験）との交流において、どちらの側からでも言えることであるが、一方が他方に無理やりに働きかけようとして生ずる作品そのものの破綻という問題である。

そしてこの破綻は現代中国文学の特徴をなすものであるといつてよい。そしてまたこの破綻は近・現代の中国の歴史的條件が生んだ「願望」の破綻といえるかも知れない。

言葉と人、言葉は大切にしたいものである。

（中国文学）



創刊号



No. 16



No. 30



No. 40

西南学院大学 図書館報

—— 80号の歩み ——

図書館報も今回で第80号である。創刊号が発行されたのは昭和30年5月であるから20数年もの歳月が経過したことになる。

図書室時代を経て新たに3階建て鉄筋の学院図書館（現在の電子計算機センターおよび大学院の建物）が完成し、新図書館の発足にともない、事実上全面的開架制度が採用され、これは当時西日本では初めての試みであったといわれている。さらに、この図書館を一層有意義に活用し、学生との対話も盛んにしようとの趣旨で館報が誕生した。

ガリ版刷りで、わずか150部の発行であった。（図書館報 No. 50「図書館報の回顧」より）

その後、この学院図書館から大学図書館への改組や5階建て図書館の新築（昭和43年）を経て今日に至っている。図書館報も第2号から活版印刷となり、図書館のいろいろな歴史を語ってくれる。上の写真は形態上の変遷を追ったもので、第16号（昭和36年）縦組から横組へ、第30号（昭和41年）新標題の採用、第40号（昭和43年）現図書館の新築記念号である。20数年ものあいだ継続して発行されているこの館報の歴史は、他の大学の図書館報に比べて決して短いものではなく、先輩諸氏の努力に敬意を表すと共に、われわれが編集に取り組む姿勢をあ

らためて考えさせられる。

昨年館報について再検討がなされたので、この機会に本学図書館の広報活動の状況と、あわせて考えてみたいと思う。本学図書館が行なっている主な広報活動は次のとおりである。

- ① 「図書館報」 ニュース、館内諸状況、書誌の記事、その他。（年4回発行）
- ② 「図書館利用案内」（小冊子）新入生に配布。
- ③ 新入生オリエンテーション。スライド、口頭説明。
- ④ 「文献情報」 研究者を対象とした資料紹介。
- ⑤ 「増加図書目録」（年3回発行）
- ⑥ 「雑誌目録」

情報が多様化し、それぞれの内容が複雑化するにつれて、従来館報に包含されていた事柄も、自ずと分離独立させる方がとく便利であり、そうした過程に図書館報のありかたが再検討されるに至ったのである。

こうした事情を慎重に配慮し、図書館報発行を一層明確に整備することにわれわれは努力してみた。

そのねらいは、主として図書館の業務および諸情報を学内外に伝達し、大学の教育、研究に役立てるように志す。さらに館内のそれぞれの係（受入、整理、資料、閲

覧)より館報編集者を選び、清新な広報活動につとめる。

本学では「大学広報」の外に、「西南学院月報」、「使者」(宗教部週報)、「LLニュース」等が発行されているので、少しでも図書館報としての特色を出してい

くように努力したいと思う。また利用者である教職員、学生の方々の協力をお願いして、ともすればマンネリ化におちいりやすい館報に新風を吹きこんでいきたいものである。
(品川寿子 整理係)

＜期待される館報像＞

館報を出すごとに、特色をもたせるのは難しい。長く続ければマンネリ化する。が、読者はその都度厳しい目でみるから、編集者は、たまらない。

目下のところ、第一面の随筆調と最終ページのお知らせは続けて欲しい。苦心されるのは、中間のページであろう。もちろん、今の路線でも結構。更に欲を言うなら、主要購入書のリストを定期的に載せるか、紙面の都合上無理なら、せめて、分野別の冊数だけでも知らせて欲しい。また、指定図書目録などは、新学期と同時に配布し、在学生に即座に利用してもらいたい。

(岡 正樹 文学部講師)

図書館が発行している館報というのは、単に情報を与えてくれるものというだけではなく、その小冊子の中に私は何か一つの心暖まる人生というものを感ずる。機械的な情報の羅列だけではなくそこには多種多様な内容が含まれている。図書館に関するあらゆる情報や学術的なことはもちろんのこと、さまざまな立場の人々が語る考えや経験談は参考になるし、また大変楽しいものである。文面を飾る内容が一方ではクールで、また一方ではソフトな感じのする館報、確かに地味ではあるがこれからも大事にしていきたい、そんな気持ちでいっぱいです。
(加来真一 経済学部4年)

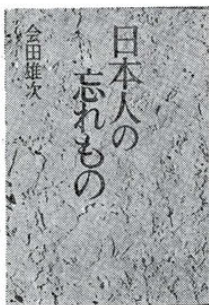
会 田 雄 次

「日本人の忘れもの」

PHP 研究所 昭和47年

軽い気持ちで本の紹介を引き受けましたが、日頃の読書不足の為、本の選択に随分悩みました。なにしろ図書館にお世話になるのは試験前とレポート提出の折という有様ですし、暇な割には読書と縁遠い毎日ですので選択範囲が大変狭いのです。そこで、このような窮地に追い込まれざるを得ないような怠惰な生活をしている私自身を反省する意味でこの本を取り上げてみました。

この本は、いわば、現代日本への警告で、家庭論、教育論、日本文化論などにわたり、西洋文化との比較や、興味をそそる具体例を用いて、現状分析、問題提起がなされています。特に学生気質の分析は、実に的を射ており、私のような怠け者の学生は、穴があったら入りたい気持ちになる程です。学生だ



けでなく、大人から子供まで一様にモラルの欠如とか意識の低下が目立つこの頃ですが、よりよい生き方の一つの基準をこの本は与えてくれると思います。



つい先日ですが、知り合いの年配の方が、為になるお説教などを聞いたその時には、なるほど善い事をしなくては、と思うけれど、ちょっと嫌な事があるともうお説教のことを忘れて腹をたててしまう、と言われると、もう1人の方が、善い事をするのは本当に難しい、でもお説教を聞いたその時だけでも善い事をしようと思うことが大切なのだとおっしゃいました。若い人の言葉だと軽々しい言い逃れに聞こえますが、年配の方が口にされると重みがありますね。この本を読んでその時だけでも、より良い日本人になろうと考えていただけたらと思います。でも、できれば、私を含めて皆がより良い日本人になる努力をするのが一番良いのです。

かくいう私から、先ず図書館通いなど始めてみたいと思います。皆さんもぜひ…。(柴田尚子 文学部3年)

※本館所蔵(分類番号 361.6.49)

参考図書紹介 — その⑧ —

人物資料の二次文献

参 考 係

ある特定の人物についての情報

- 伝記を調べたいのだが何か図書が出ているだろうか？
- 著作にはどんなものがあるのだろうか？
- 伝記、年譜、著作等をまとめた索引等が出ているだろうか？

等々、ある特定の人物の著作や、その人物についての参考文献や著作目録などの個人書誌が、いつ、どこに、どのような形で発表されたかを、いち早くつかむために使用するのがこの人物情報に関する三次文献です。

それぞれの収録範囲、編集の特徴等をつかんで、使う目的に応じて使いわけ、また併用することが望ましい。

① 日本人物文献目録（法政大学文学部史学研究室編）
昭49

明治以降～昭和41年刊行分

日本人関係の約3万余名、12万種の伝記に関する文献を、図書、雑誌を対象に収録している。

② 現代日本執筆者大事典（日外アソシエーツ）全5巻
昭53～54

戦後～昭和52年刊行分（雑誌論文については昭和40～51年刊行分）

現在、人文・社会科学分野で活躍している約1万人の執筆者に関する情報〔略歴事項（専攻・生没年・最終学歴・勤務先・現住所・別名）、自身の著述類（論文、図書名）、人物研究、年譜、著作目録〕

●各文献目録の収録期間●

	明治	大正	昭和	昭和50
日本人物文献目録			昭和41	
人物文献索引 経済・社会編			昭和43	
人物文献索引 法律・政治編			昭和46	
人物文献索引 人文編		昭和20	昭和39	
現代日本執筆者大事典		昭和20		昭和52
社会科学系研究者著作目録の索引			昭和40	昭和53・3
人物書誌索引			昭和41	昭和52

を収録。

5巻は索引。(9月刊行予定)

③ 人物文献索引（国立国会図書館編）全3巻
昭42～47

国立国会図書館所蔵の各種の邦文資料（単行本・雑誌・紀要・パンフレット等）より、日本人・外国人についての伝記関係資料一切を収録している。次の3編に分れている。

- 1) 人文編 昭42
昭和20年～39年刊行分
- 2) 経済・社会編 昭44
明治以降～昭和43年刊行分
- 3) 法律・政治編 昭42
明治以降～昭和46年刊行分

④ 人物書誌索引（深井人詩編）昭54
昭和41年～52年刊行分

日本で刊行された日本人ならびに外国人に関する書誌。図書、図書の一部、雑誌記事を人名の50音順に配列。人名よみがな（外国人の場合は、原綴り）生没年、専攻、著作目録、年譜、研究文献目録、関係参考文献目録を収録。

個人の書いたものを、その個人単位に、どこに、いつ、どんな題名で発表したか、これらばらばらに発表されている多数の個人書誌の散在を集約している。

⑤ 社会科学系研究者著作目録の索引

—經濟・経営・法学編—（竜谷大学社会科学研究
所）昭53

昭和40年～53年3月刊行分

雑誌および図書に掲載された経済・経営・法学関係の「研究者の著作目録」を収録した索引。

〔使用例〕

- ◎ 金子堅太郎の年譜，伝記を調べたいとき
 - ・日本人物文獻目録
 - ・人物文獻索引 法律・政治編
- ◎ 飯島正の略歴，著作目録を調べたいとき
 - ・人物書誌索引
 - ・現代日本執筆者大事典
- ◎ 本学木村毅先生の著作（論文，図書）を調べたいとき
 - ・社会科学系研究者著作目録の索引
 - ・人物書誌索引
 - ・現代日本執筆者大事典

昭和53年度 図書館利用統計

●どんな内容のものがどれだけ増加したか

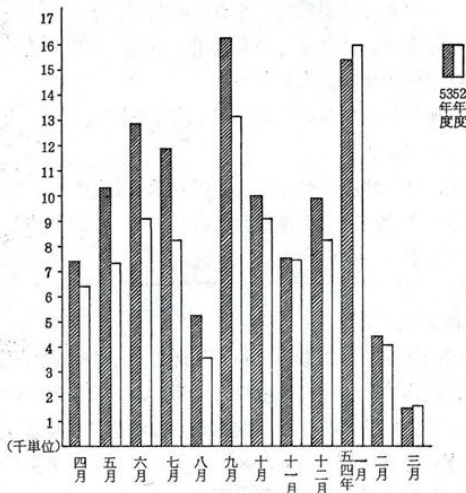
(単位・冊)

分類	000	100	200	300	400	500	600	700	800	900	計
区分	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	
和書	512	1,108	783	5,682	640	296	1,071	809	414	1,411	12,726
洋書	568	533	644	1,469	217	56	231	256	824	1,923	6,721
計	1,080	1,641	1,427	7,151	857	352	1,302	1,065	1,238	3,334	19,447
52年度 和洋合計	1,584	1,603	1,084	5,642	869	314	1,153	621	876	3,908	17,654

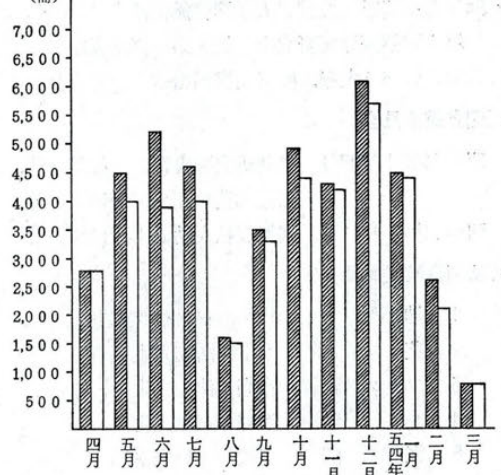
視	聴	覚	資	料	
レコード	テープ	マイクロ フィルム	マイクロ フィッシュ	フィルム スライド	絵 話
43枚	37リール	1リール	2シート	10ロール	19点
					計
					111

●この2年間にどれだけ利用されたか

表Ⅰ 入館者数
(名)



表Ⅱ 館外貸出冊数
(冊)



●その他の利用統計

○文献複写

種別		電 子 複 写		マイクロ資料の引伸		
利用者区分				フィルム	フィッシュ	
学 内	教 員	770件	29,362枚	7件	1,123件	28枚
	学 生	2,940	41,432			1 28
	公用事務	769	15,057			
	計	4,479	85,851			
学外(受付)		155	4,163			
合 計		4,634	90,014	7	1,123	1 28

○特別利用者

310名(240)

卒業生 201名(134) 聴講生 19名(36)
相互利用 61名(51) その他 29名(19)

○視聴覚機材貸出

14件(19)

○学生図書購入希望

228件(97)

○投書

13件(5)

○紛失弁償図書

2冊(22)

○閉架図書閲覧者

1,944名(1,321)

卒業論文 169名(200)

図書 690名(746)

文庫 37名(62)

その他(新聞・雑誌) 1,048名(313)

※()内は52年度

☆ お知らせ・ニュース・NEWS ☆

<3階、4階の冷房設置>

3階および4階の閲覧室の冷房設備工事に去る5月上旬着工し、このほど竣工しました。

一昨年2階と5階(一部)を冷房しましたので、1階学習室を除く2階、3階および4階(院生閲覧室を含む)の学生利用の開架閲覧室は、すべて冷房されました。

今年の夏季休暇中の快適な図書館利用をおすすめします。

<研修・出張>

- ・54年度九州地区大学図書館協議会総会 於・宮崎
54. 5. 11 八木館長・刀根司書長出席
- ・54年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会
於・佐賀大学
54. 5. 23 今永係長出席
- ・54年度私大図書館協会西地区部会 於・甲南大学
54. 6. 1 刀根司書長出席
- ・54年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会
第1回福岡地区研究会 於・第一経済大学
54. 6. 8 大塚、原田司書補出席

<図書館委員会>

- 昭和54年4月27日 共通研究図書費、一般図書費、新聞雑誌費の配分について 他
- 昭和54年6月11日 54年度私大助成申請について

<新図書館委員紹介>

- | | | | |
|---|-------|---|------------|
| 1 | 神 | 学 | V. キャンベル先生 |
| 2 | 英 | 文 | 木下 浩利先生 |
| 3 | フランス語 | | 富盛 伸夫先生 |
| 4 | 商 | 学 | 西野 宗雄先生 |
| 5 | 経 | 済 | 時政 勲先生 |
| 6 | 法 | 学 | 西山 雅明先生 |
| 7 | 教 | 養 | 瀧沢 壽一先生 |
| 8 | 児 | 教 | 尾崎 恵子先生 |

(任期 S 54. 7. 1~55. 6. 30)

<人の動き>

○図書館長に八木幹教授再任

図書館長に、八木幹教授(文学部)が再任されました。(2期目)

任期は、昭和54年7月1日から昭和56年6月30日までです。

○永年勤続者表彰

本学図書館の杉本善夫氏が30年の永きにわたり勤続されましたので、創立記念日の5月11日に学院より

表彰されました。

今後のご活躍をお祈りいたします。

告知板

○7月2日(月)より夏休長期貸出をします。

冊数は5冊以内 返却期限は9月17日(月)まで。
貸出対象は学部学生、専攻科生、大学院生(20冊まで)のみ。

○夏季休暇中の開館および休館

開館 日曜日を除く毎日 9:15~21:00

休館 7月30日(月)、31日(火)は職員修養会のため。

1階学習室は休暇中閉室

○卒業年次生のための特別利用

①貸 出

卒論作成のための貸出があります。通常の貸出のほかに3冊以内、1カ月間利用することができます。グリーンの卒論用帯出証で利用します。

②先輩の卒業論文の閲覧

卒論作成の参考に諸先輩の卒論を閲覧することができます。

①、②いずれもゼミ担当教授の承認を得なければなりませんので、希望者はあらかじめ受付に申し出て下さい。

閲覧係より

午後の騒がしさがおさまり5号館の建物が茜色に染まる頃、館内の閲覧室にも静けさが増し、勉学に励む学生諸君の姿が見られる。夜間開館が行なわれて1年8ヶ月を過ぎた今日、利用者も増え、本年よりはる、4階の閲覧室の冷房設備も整い快適な環境の中で、未来に向かって勉強するその姿勢に励ましの言葉を贈りたいと思う。

閉架書庫の図書の利用も増え、知識の泉と云われる多くの図書との出会いは、学生時代の一つの恵まれた権利だと思う。一冊でも多くの本と接し思考する時が与えられる事は、学生生活を終え不確実な時代と云われる現代の社会に出て行く学生諸君にとって必ずや、何等かの形で表われるものと考え。利用する学生諸君とも顔馴染になり、励ましの言葉と共に勉強の疲れを労う言葉が出るこの頃です。新しい顔の学生が入館する時に喜びを感じ、久しく姿を見せない学生の上に思いが走る事がある。もっと多くの学生諸君が図書館を利用し、悔いのない学生時代を送る様カウンターの係として念じている。(梅津)

昭和54年度 指定図書目録

(Reserved Books)

指定図書とは、講義担当の先生方が、その講義に直接関連して学生に必ず参考にしてもらいたい図書を指定されたものです。年間を通じて2階閲覧室に備えております。なお、講義区分は学生便覧を参考にしました。

教養課程・文学部 (国際文化)

有 田 忠 郎<西洋文学>

立体フランス文学 篠沢秀夫 朝日出版社

台 信 達 ニ<数 学>

カタストロフィーの話 野口 広 NHK

幾何学の歴史 矢野健太郎 NHK

オペレーションズ・リサーチ入門 近藤次郎 NHK

論理学入門 近藤洋逸 岩波書店

数学の思想 村田 全 (他) NHK

<物 理 学>

物理学の世界 中村誠太郎 NHK

エネルギー NHK海外シリーズ NHK

現代物理学 安河内 昂 NHK

現代物理学の展望 和田昭允 東大出版会

岩波講座 地球科学 1~16 岩波書店

<科 学 史>

中国科学技術史論集 吉田光邦 NHK

大自然科学史 1~12 ダンネマン 三省堂

科学技術史概論 山崎俊雄 (他) オーム社

年代別 科学技術史 城阪俊吉 日刊工業新聞社

・歴史における科学 パナール みすず書房

平 野 正<東洋史学>

中国大躍進政策の展開 上・下 日本国際問題研究所

中国社会主義史研究 芝池靖夫 ミネルヴァ書房

孫文伝 鈴江言一 岩波書店

<近代中国史>

マルクス主義と民族問題 ルクセンブルク 福村出版

民族と階級 高島善哉 現代評論社

ナショナリズムと社会主義 デーヴィス 岩波書店

三民主義 孫文 岩波書店

1975年度歴史学研究会大会報告 同研究会 青木書店

今 井 威<法 学>

法学概説 高橋貞三 法律文化社

法学入門 ラートブルフ 東大出版会

法における常識 ヴィノグラドフ 岩波書店

法律学概論 田中耕太郎 学生社

ワークブック法学・憲法 田中実 (他) 有斐閣

小樋井 滋<哲 学>

西洋哲学史 岩崎武雄 有斐閣

<倫 理 学>

カント 岩崎武雄 勁草書房

キェルケゴール マランツク ヨルダン社

森 有正全集 8 森 有正 筑摩書房

市民社会と社会主義 平田清明 岩波書店

新倫理学 大島康正 自由書房

<基礎演習>

Church dogmatics. III/4 Barth Clark

Kirchliche Dogmatik. III/4 Barth

Evangelischer

<近代文化に関する特講>

デカルト 伊藤勝彦 清水書院

省察 デカルト 八木書店

滝沢克己著作集 6 滝沢克己 法蔵館

久 屋 孝 夫<英語 (E I E)>

動詞人間学 作田啓一 (他) 講談社

哺育器の中の大人 岩田 秀 (他) 朝日出版社

辞典の辞典 佃 実夫 (他) 文和書房

ことばと文化 鈴木孝夫 岩波書店

論文の書き方 澤田昭夫 講談社

<英語 (商Ⅱた・さ)>

偏見の構造 我妻 洋 (他) NHK

比較生活文化事典 1・2・3 金山宣夫 大修館

日本人の表現構造 バーンランド サイマル出版会

日本人と英米人 カーカップ 大修館

<英語 (経Ⅱふ・ぬ)>

身ぶり言語の日英比較 小林祐子 ELEC

論文・日本文化 1~3 梅棹忠夫 (他) 講談社

戦後の日本 加藤周一 (他) 講談社

松 本 達 郎<自然科学概論>

科学史通論 島村福太郎 (他) 関東出版

- 科学とは何か 八杉龍一 東京教学社
 自然科学概論 浜 健夫 (他) 関東出版
 <進化論>
 地球生物の進化 堀田 進 博文社
 地球史 小島 稔 岩波書店
 The history of life. 2nded. McAlester
 Prentice-Hall
 Patterns of evolution as illustrated. Hallam
 Elsevier
- 森 泰 男<キリスト教学 II>
 復活 ウィルケンス 新教出版社
 イエズスはキリストである カスパー あかし書房
 教会 パルト 新教出版社
 教会教義学 神論 I/1 パルト 新教出版社
 菅 円吉論文集 菅 円吉 新教出版社
 <キリスト教学 IV>
 Ethik. II (Gesamtausgabe. II) Barth
 Theologischer
 現代をいかに生きるか 宮田光雄 日基督教団出版局
 道のまねび 猪城博之 梓書院
 死 ジャンケレヴィッチ みすず書房
 共に生きる生活 ボンヘッファー 新教出版社
 <ラテン語 初級 II>
 中世ラテン語入門 国原吉之助 南江堂
 ラテン語入門 呉 茂一 岩波書店
 歴史 2 グレゴリウス(トゥールの) 東海大出版部
 ローマの歴史家 レイスナー みすず書房
 Vulgata. I・II Württembergische
 <西洋中世哲学思想>
 アウグスティヌスの根本問題 山田 晶 創文社
 時間と自由 ベルグソン 白水社
 内的時間意識の現象学 フッサール みすず書房
 トマス アクイナス 稲垣良典 勁草書房
 トマス アクイナスの《エッセ》研究 山田晶 創文社
- 中 村 和 夫<キリスト教学 I>
 旧約・新約聖書 パルバローデル・コル ドン・ボスコ社
 Nouveau Testament. (Traduction oecuménique
 de la Bible) Cerf
 新契約聖書 永井直治 基督教文書伝道会
 新約聖書 共同訳 日本聖書協会
 新約聖書 新改訳 日本聖書刊行会
- 西 尾 陽太郎<日本史学・日本文化史・文献講読>
 福沢諭吉全集 1~22 福沢諭吉 岩波書店
 福沢全集 1~10 福沢諭吉 国民図書
 明治文化全集 1~28 日本評論社
- シート, L. K. <キリスト教学 II (15, 18, 19, 23, 26)>
 永遠の生命とは 柳原貞次郎 日本聖公会出版
 現代人に語る聖書 佐伯晴郎 創元社
- キリスト教入門 堤 道雄 キリスト教図書出版
 人間 I 松本治三郎 日基督教団出版局
 死と生をめぐって 浅野順一 日基督教団出版局
 <キリスト教学 III (33, 34)>
 神 オットー 新教出版社
 神を問う テーリケ ヨルダン社
 聖書のことば 宮本武之助 潮文社
 宗教の哲学 改訂版 ヒック 培風館
 天の梯子 三浦綾子 主婦の友社
 <キリスト教学 III (35)>
 ルカ福音書 パークレー ヨルダン社
 ルカ福音書 ミラー 日基督教団出版局
 民衆の聖書 20 山室軍平 教文館
 聖書注解 9 内村鑑三 教文館
 新約聖書講解 3 シュラッター 新教出版社
 <キリスト教学 IV (57, 73)>
 The challenge of New Testament ethics.
 Marshall Macmillan
 現代をいかに生きるか 宮田光雄 日基督教団出版局
 生きる道 松永晋一 新教出版社
 キリスト教倫理辞典 佐藤敏夫 日基督教団出版局
 キリストの証人たち 3 四竈 揚 日基督教団出版局
- 田 村 茂 夫<法 学>
 アメリカ法のはなし 増補・改訂 ハーマン
 有信堂・高文社
 近代法の常識 新版 伊藤正己 有信堂・高文社
 近代法の形成 村上淳一 岩波書店
 入門ドイツ法講義 四訂版 山田 晟 有信堂・高文社
- 山 中 耕 作<日本文学>
 古事記注釈 西郷信綱 平凡社
 古事記全註釈 倉野憲司 三省堂
 日本昔話辞典 稲田浩二 (他) 弘文堂
 日本の歴史 2 三品彰英 集英社
 日本神話の新研究 松前 健 桜楓社
 <文献講読>
 冥途の飛脚・心中天の綱島通釈 黒羽英雄 武蔵野書院
 女殺油地獄通釈 黒羽英雄 武蔵野書院
 曾根崎心中・丹波与作通釈 黒羽英雄 武蔵野書院
 <演 習>
 平家物語の虚構と真実 上横手雅敬 講談社
 平家物語の世界 村井康彦 徳間書店
 平家物語全注釈 上・中・下(1・2) 富倉徳次郎
 角川書店

文 学 部 (英語・英文)

安 徳 典 光<英作文(英専3年・英文4年・英専4年)>

- Effective writing. Bindseil Houghton Mifflin
Everyman's thesaurus of English words and
phrases. Roget Dent
Investigating English style. Crystal Longman
Usage in dictionaries and dictionaries of
usage. Cresswell Univ. of Alabama
Writing to be read. Hutchens Prentice-Hall
＜演習 (英専)＞
Life in modern Britain. Bromhead Longman
The national character. Bryant 研究社
日本人と英米人 カーカップ (他) 大修館
江崎 義彦＜英文学講読 (詩)＞
凝視と夢想 岡 三郎 国文社
若きワーズワス 前川俊一 英宝社
ワーズワス研究 原 一郎 北星堂
ワーズワスの詩の変遷 金田真澄 北星堂
ワーズワス試論 増補版 五十嵐美智 晃学出版
＜英作文 III＞
Longman dictionary of contemporary English.
Longman
Oxford advanced learner's dictionary of
current English. Hornby 開拓社
Roget's international thesaurus. Crowell
新英和活用大辞典 勝俣詮吉郎 研究社
＜演 習＞
美の司祭 日夏耿之介 河出書房
ジョン・キーツ研究 津田迪雄 創元社
キーツ研究 佐藤 清 南雲堂
キーツ論考 阪田勝三 南雲堂
キーツ・詩人の手紙 キーツ 富山房
泉 マス子＜コミュニケーション概論＞
文化とコミュニケーション 加藤秀俊 思索社
コミュニケーションの科学 田中靖政 日本評論社
Nonverbal communication. Knapp Rinehart
The process of communication. Berlo Rinehart
＜演 習＞
Basic readings in communication theory.
Mortensen Harper
Communication in face to face interaction.
Laver Penguin
Explorations in interpersonal communication.
Sage Miller
An introduction to research in speech. Auer
Harper
久屋 孝夫＜英文法 (L II)＞
Aspects of language. Bolinger Harcourt Brace
独英比較文法 三好助三郎 郁文堂
英仏比較文法 前島儀一郎 大学書林
英語辞書の知識 佐藤 弘 八潮出版社
英語の型と語法 第2版 ホーンビー
オックスフォード大学
English as a foreign language. Close Allen
意味と英語動詞 リーチ 大修館
＜英作文 (E III)＞
英語の辞書(The English Journal 別冊) アルク社
英語論文とレポートの書き方 鳥居次好(他) 英潮社
言語・人間・文化 滝田文彦 NHK
日本語と論理 大出 晃 講談社
レトリック感覚 佐藤信夫 講談社
岡 正 樹＜英文法＞
談話の文法 久野 暉 大修館
言語学とは何か エルジン 研究社
意味論 村木正武 (他) 研究社
日本語の分析 柴谷方良 大修館
新言語学辞典 改訂増補版 安井 稔 研究社
大 森 衛＜演 習＞
キャザー 石井桃子 研究社
キャザー研究 浜田政二郎 南雲堂
辺境の文学 小林健治 研究社
ウィラ・キャザー 佐藤宏子 冬樹社
ウィラ・キャザーの小説 大森 衛 開文社
＜特殊研究 (修士課程)＞
アメリカ自然主義の形成 高橋正雄 富山房
ドライサー 高村勝治 研究社
佐渡谷 重 信＜米文学史＞
アメリカ小説研究 1～8 佐渡谷重信 泰文堂
現代アメリカ文学史 ケイジン 南雲堂
現代アメリカの小説家たち ムーア 評論社
総説アメリカ文学史 大橋健三郎 (他) 研究社
資料編 大橋健三郎(他) 研究社
文 学 部 (仏語・仏文)
有 田 忠 郎＜演 習＞
悪魔と反覆 阿部良雄 牧神社
ボードレールの生涯 ボルシェ 二見書房
ボードレール雑話 佐藤正彰 筑摩書房
パリの憂愁 河盛好藏 河出書房新社
中 村 栄 子＜フランス文学史＞
フランス文学講座 1～6 中既刊分 大修館
フランス文学史ノート 河盛好藏(他) 駿河台出版社
立体フランス文学 篠沢秀夫 朝日出版社
太 田 和 男＜フランス文明論講読＞
パリ日本館だより 小林善彦 中央公論社

末 松 壽<フランス文学講読 (劇)>

En attendant Godot. Beckett Minuit
 プレヒト戯曲全集 1 プレヒト 白水社
 Théâtre. III Ionesco Gallimard
 Le théâtre d'avant-garde en France. Pronk
 Denoël
 Le théâtre nouveau en France. Corvin
 Univ. de France

<演 習>

Le rire. Belgson Univ. de France
 笑い ベルグソン 岩波書店

富 盛 伸 夫<フランス語史>

フランス語学入門 島岡 茂 大学書林
 フランス語の歴史 ホームズ (他) 大修館
 フランス語の歴史 島岡 茂 大学書林
 フランス語の進化と構造 ワルトブルク 白水社
 フランス語史 ショーラン 白水社
 現代フランス語のできるまで 家島光一郎 (他) 白水社
 <時事フランス語講読>

フランス病 ベイルフィット 実業之日本社
 時事経済フランス語 松本 正 第三書房
 経済フランス語 松本 正 第三書房
 Petite grammaire de l'ancien français. Faral
 Hachette

文 学 部 (児童教育学科)

中 川 ノ ブ<演 習>

新しい乳幼児栄養の実際 中山健太郎 医学書院
 栄養の心理 村松功雄 三共出版
 公衆栄養学 細谷憲政 (他) 第一出版
 レポート・論文のまとめ方と書き方 宮内克男 (他)
 川島書店

食欲の科学 河村洋次郎 医歯薬出版

堺 太 郎<児童福祉学>

児童福祉 井垣章二 ミネルヴァ書房
 児童福祉概論 徳永寅雄 (他) ミネルヴァ書房

<社会福祉学 I>

福祉の思想 糸賀一雄 NHK
 解説 社会福祉 一番ヶ瀬康子 医歯薬出版
 教養としての社会福祉 吉田宏岳 (他) 川島書店
 社会福祉事業辞典 塚本 哲 (他) ミネルヴァ書房
 社会福祉六法 昭和54年度版 新日本法規

<社会福祉学 II>

社会福祉の方法 重田伸一 (他) 川島書店

<保育実習 I・II・III>

保育実習 岡田正章 (他) 医歯薬出版

施設保育・養護の実際 小林提樹 (他)
 日本小児医事出版社

商 学 部

古 林 輝 久<経営労務論>

現代化と現代社会の理論 庄司興吉 東大出版会
 現代労働問題 戸塚秀夫 (他) 有斐閣
 国家と文化 竹内芳郎 岩波書店
 マルクス主義と人格の理論 セーブ 法政大学出版局
 日本雇用史 上・下 坂本藤良 中央経済社

<労務管理論>

経営理念と企業責任 中谷哲郎 (他) ミネルヴァ書房
 経営参加の論理と展望 日本労働協会
 戦後日本の賃金決定 小野 旭 東洋経済
 職場の労働組合と参加 小池和男 東洋経済
 双書現代の精神的労働 6巻 芝田進午 (他)
 青木書店

後 藤 泰 二<保 險 論>

保険経済概論 馬場克三 (他) 国元書房
 海上保険総論 亀井利明 成山堂
 火災保険概論 鈴木讓一 (他) 海文堂
 生命保険論 庭田範秋 (他) 有斐閣
 損害保険論 木村栄一 (他) 有斐閣

<経営財務論>

現代日本の株式会社 野口 祐 (他) 南雲堂
 法人資本主義の構造 奥村 宏 日本評論社
 株式会社の経済理論 後藤泰二 ミネルヴァ書房
 経営者支配論 村田 稔 東洋経済
 経営財務論 片山伍一 (他) ミネルヴァ書房

井 田 雄 平<貿 易 論>

国際経済学要論 行沢健三 ミネルヴァ書房

井 上 康 男<原価計算論>

原価計算演習 増補版 溝口一雄 税務経理協会
 原価計算問題精解 新2訂版 佐藤精一

入門原価計算 松本雅男 税務経理協会
 最新原価計算論 小林健吾 中央経済社
 最新例解原価計算詳解 松本雅男 (他) 春秋社

<管理会計論>

別冊図解式財務診断 西沢 脩 泉文堂
 情報化時代の経営分析 奥野忠一 (他) 東大出版会
 連結経営管理 伊藤良一 日本経営出版会
 連結財務諸表の作り方・読み方 熊谷直樹

税務研究会
 線型計画法による予算管理モデル 改訂増補版
 佐藤精一 同文館

糸 園 辰 雄<商学総論>

現代の流通経済 橋本 勲 (他) 有斐閣
現代商業学 橋本 勲 ミネルヴァ書房
商業学 久保村隆祐 有斐閣

<中小企業論>

中小企業研究 大阪経済大学 日外アソシエーツ
中小企業論を学ぶ 巽 信晴 (他) 有斐閣
中小企業と労務管理 松島静雄 東大出版会

小 森 俊 介<マーケティング論>

マーケティング・エコノミー サビット
マグローヒル好學社
マーケティング研究の新展開

マーケティング理論研究会 千倉書房
マーケティング・サイエンスの系譜 荒川祐吉 千倉書房
新製品開発の意思決定 ベシミアー 日本科学技術連盟
組織現象の理論と測定 野中郁次郎 (他) 千倉書房

<広告論>

現代広告論 片山又一郎 (他) 実教出版
情報科学とは何か 杉田元宣 実教出版
広告と環境 小林大三郎 実教出版
社会調査の理論と技法 西田春彦 (他) 川島書店
多次元尺度構成法 I・II シェパード (他) 共立出版

<外書講読 II>

江戸期商人の革新的行動 作道洋太郎 (他) 有斐閣
現代企業の組織革新と企業行動 ウィリアムソン 丸善
日本企業の組織戦略 小野豊明 マネジメント社
日本商業史 藤田貞一郎 有斐閣
西欧企業の発想と行動 吉森 賢 ダイアモンド社

<演習 I・II>

データ解析術 鈴木義一郎 実教出版
データの理論 松田芳郎 岩波書店
現代大都市の構造 吉岡健次 (他) 東大出版会
計量マーケティング入門 ジョルソン 有斐閣
品質管理の基礎概念 シューハート (他) 岩波書店

新 谷 正 彦<経済原論 A>

経済学 上・下 (新版) サムエルソン 岩波書店
経済学原理 上・下 スーツ 学習研究社

白 樫 三四郎<経営心理学>

グループ・ダイナミックス (現代のエスプリ) 至文堂
企業と組織 (現代のエスプリ) 至文堂
リーダーシップ行動の科学 三隅二不二 有斐閣
職場の人間行動 山田雄一 (他) 有斐閣
集団システム論 テイラー 誠信書房

経 済 学 部

吾 郷 健 二<国際経済論>

現代世界経済論 木下悦二 新評論
現代世界経済論 柳田 侃 (他) 日本評論社
国際通貨体制成立史 上・下 ガードナー 東洋経済
南北問題入門 小野一郎 (他) 有斐閣
資本輸出論と南北問題 柳田 侃 日本評論社

<外書講読 II>

現代日本経済論 正村公宏 日本評論社
経済白書 昭和53年版 経済企画庁 大蔵省印刷局
国際経済学 小宮隆太郎 (他) 岩波書店
国際経済論 天野明弘 (他) 有斐閣
通商白書 1978年版 総論 通商産業省 大蔵省印刷局
〃 〃 各論 〃 大蔵省印刷局

<演習 I>

概説国際経済論 楊井克己 東大出版会
工業化の世界史 ヒルガート ミネルヴァ書房
世界貿易の構造とイギリス経済 ソウル 法政大学出版局
世界経済の構造と展開 有賀 (他) ミネルヴァ書房
世界経済史 ヒューズ マグローヒル好學社

原 田 三喜雄<日本経済史>

日本経済史 石井寛治 東大出版会
日本経済史 山口和雄 筑摩書房

<演習 I・II>

地域分権の思想 玉野井芳郎 東洋経済
現代産業論の構造 富山和夫 新評論社
農業を復権する 飯沼二郎 (他) 東洋経済
産業構造の長期ビジョン 通商産業省 通商産業調査会
新文化産業論 日下公人 東洋経済

木 村 毅<社会政策総論・各論>

中小企業労働者と最低賃金制 永山武夫 文真堂
日本賃労働の史的研究 隅谷三喜男 御茶の水書房
日本の労使関係 高梨 昌 東洋経済
社会政策 1 荒又重雄 (他) 有斐閣
社会政策を学ぶ 西村豁通 有斐閣

<演習 I・II>

賃労働論の展開 荒又重雄 御茶の水書房
高齢者の労働問題 下山房雄 労働科学研究所
日本人のライフサイクル 藤本 武 労働科学研究所
労働経済学 (季刊労働法 別冊2号) 総合労働研究所
労働経済学のフロンティア 島田晴雄 総合労働研究所

新 谷 正 彦<外書講読 I>

現代経済学再入門 篠原三代平 国元書房
近代社会の経済理論 森嶋通夫 創文社

<外書講読 II>

経済理論 ベッカー 東洋経済
日本経済の構造 ヒックス 同文館

<演習 II>

近代移行期の日本経済 新保 博 (他) 日本経済新聞社
日本経済 中村隆英 東大出版会

田村茂夫<商法 A>

ケースブック会社法 上柳 (他) 有信堂・高文社
現代企業の社会的責任 森田 章 商事法務研究会
一般会社法 デラウェア 商事法務研究会
株式会社法研究 北沢正啓 有斐閣
会社法学の新傾向とその評価 田中誠二(他) 千倉書房

法 学 部

今井 威<憲 法>

憲法 1~4 阿部照哉 (他) 有斐閣
基本憲法 宮田 豊 (他) 有斐閣
日本国憲法 宮沢俊義 有斐閣
日本国憲法概説 佐藤 功 学陽書房
日本国憲法論 改訂 佐々木惣一 有斐閣

伊藤不二男<法 哲 学>

法学概論 尾高朝雄 有斐閣

<国 際 法>

基本条約・資料集 田畑茂二郎 有信堂
国際法 全訂版 田岡良一 勁草書房
国際法 改訂版 横田喜三郎 有斐閣

川上 宏二郎<行政法 II>

行政法学の基礎知識 1・2 広岡 隆(他) 有斐閣
行政法を学ぶ 1・2 室井 力(他) 有斐閣
憲法と行政争訟 大西芳雄 有斐閣

<演 習>

演習行政法 上・下 山田幸男(他) 青林書院新社
現代行政法概論 西岡久頼 (他) 有信堂
行政判例百選 I・II (別冊ジュリスト) 有斐閣
行政法総論 新版 佐藤立夫 前野書店

河島 幸夫<政治学原論>

ドイツ精神史とルター ボルンカム ヨルダン社
法社会学 ウェーバー 創文社
カール・シュミット論集 シュミット 木鐸社
ルター神学とその社会教説の基礎構造 倉松 功 創文社

鉄の檻 ミッツマン 創文社

<政 治 史>

ドイツ社会思想史研究 良知 力 未来社
独ソ関係の史的分析 富永幸生 岩波書店
憲法社会史 上山安敏 日本評論社
プロイセン・ドイツ史研究 林 健太郎 東大出版会
ヨーロッパ百年史 上・下 ジョル みすず書房

<外書講読>

ファシズムと文学 池田 浩 白水社
キリスト教経済思想史研究 沢崎堅造 未来社
マキアヴェッリの政治思想 佐々木 毅 岩波書店

サラリーマン クラカウアー 法政大学出版局
ウェーバー宗教社会学の世界 池田 昭 勁草書房

<演 習>

現代をいかに生きるか 宮田光雄 日基督教団出版局
ナチへの抵抗 ニーメラー 日基督教団出版局
政治と宗教 霜田美樹雄 成文堂
宗教改革の時代 エルトン みすず書房
宗教改革と国家 中村賢二郎 ミネルヴァ書房

中 森 宏<民事訴訟法 I>

民事訴訟法 三ヶ月 章 弘文堂
民事訴訟法 新堂幸司 筑摩書房
民事訴訟法講義 中野貞一郎 (他) 有斐閣

中 尾 英 俊<民 法>

物権法 中尾英俊 青甲社

西 井 龍 生<民 法>

不法行為 幾代 通 筑摩書房
損害賠償法の理論 平井宜雄 東大出版会

高 橋 貞 夫<労働法 I>

公共部門の争議権 兵藤 釗 (他) 東大出版会
労働組合法 石川吉右衛門 有斐閣
労働組合の組織と運営 山本吉人 総合労働研究所
労使関係法運用の実情及び問題点 上・下 労働省 日本労働協会

<労働法 II>

論争労働法 恒藤武二 世界思想社

田村茂夫<商法 I>

外観優越の法理 喜多了祐 千倉書房
表示行為の公信力 伊沢孝平 有斐閣
国際商事仲裁の研究 喜多川篤典 東大出版会
商法総則 新版 大隅健一郎 有斐閣
詳解商業登記 第3版 味村 治

金融財政事情研究会

<演 習>

判例と学説 商法1 北沢正啓 日本評論社
判例と学説 商法2 河本一郎 日本評論社

田 辺 康 平<商法 III>

演習商法 手形小切手 鴻 常夫(他) 青林書院新社
判例体系 手形小切手法 田中誠二(他) 有信堂
海上保険における固有の瑕疵論 松島 恵 成文堂
手形小切手法綱要 服部栄三 商事法務研究会
手形・小切手法を学ぶ 菅原菊志 (他) 有斐閣

<商法 IV>

保険法演習 1 田辺康平(他) 文真堂
保険契約法の現代的課題 倉沢康一郎 成文堂
保険契約の基本構造 田辺康平 有斐閣
自動車保険の諸問題 石田 満 損害保険企画
損害保険研究 鈴木辰紀 成文堂